



謹賀新年

病院内管理者会議メンバー

あけまして
おめでとうございます

院長 石原 晋

軌道なきグローバル化が行先を見失って立ちすくみ、不透明な世界情勢が続いてるようです。近い将来、食糧危機とエネルギー危機が世界を覆うと思われれます。それまでに我が国は、食料自給率を高め、食の安全保障を確保する、そのために、第1次産業を強化し、あるいは第6次産業化の推進を図ることが焦眉の急でありましょう。そのような中、田舎の病院を守り、田園の暮らしの安心に寄与することが一層重要な責務と感じています。この国のある限り、邑智病院は存続し続けなければなりません。

邑智病院は昨年度久しぶりに黒字決算となりました。本年度もなんとか黒字達成の見込みです。しかしながら、外部からの多額の繰り入れ金でなんとか黒字化できているにすぎません。救急医療やお産、小児医療など、地域に必要な医療であれば、不採算領域であってもそれを担うのが公立病院の使命であり、そのことから派生する赤字には卑屈にならず

胸を張ろう、とこれまでは職員を励ましてきました。そして、外部からの繰り入れ金（交付税や補助金）を確保することが病院長の仕事と任じてきました。赤字に対するこのような居直りは、もうしてはなりません。一昨年の3月11日をもって、私は心を入れ替えました。

何年か前からこの国の財政は3重苦です。先の見えない不況、決められない政治、そして1千兆円にのぼる国の借金、これらの3重苦にあえぐさなか、東日本大震災・福島原発事故がダメ押しのように起きてしまいました。

経済成長期には「富の再分配」が国の仕事の中心でしたが、不況の長期化、固定化が予想される今日、「負担の再分配」が国政の中心課題であると思います。国民に痛み分けを求める政策転換のためには「決められる政治」の再構築が不可欠で、一刻も早い政界再編（がらがらポン）と、理念の下での再結集を願ってやみません。

いずれにせよ、邑智病院も外部からの繰り入れ金に頼らず、経営の自立に向けた体質強化を図ってゆかなければなりません。本年を体質強化元年にしたいと思います。

さて、邑智病院では本年2月末に、電子カルテを導入します。これにより患者サービスの向上、病院業務の効率化や他施設との連携強化などが期待されることです。ただし、導入後の最初の1か月くらいは、ハード面、ソフト面で様々な不具合がでる恐れもあり、ご来院の皆様にご迷惑をかける可能性があります。軌道に乗るまでの間、なにとぞ大目に見てやってください。引き続き本年もよろしくお願い申し上げます。



雪だるまと於保地盆地

CT装置更新について

放射線科長 左野 恵三



近年の医療用放射線機器は常に新しい技術を応用し、進化し続けています。

昨年2月に当院では、3回目となるCT装置の更新を行いました。CT装置とはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影装置）の略で、人体を中心に360度の方向からX線を照射し、コンピュータによって画像を作成する装置のことです。

この度導入したCT装置は、一回転で64枚の画像が取得でき、1度の検査で全身（頭から足）を数十秒で

撮影できます。従来の装置より撮影時間が短いため、息止めが不可能な患者さんにも撮影が可能となりました。また、画像一枚一枚の撮影幅を薄く（0.625mm×64画像）できるため、再現性の高い三次元画像や多断面画像を作成し、患者さんにわかりやすく説明ができます。

実際、当院で撮影した画像を示します。「図1」は、二次元画像で足側の方向から見た腹部の画像です。

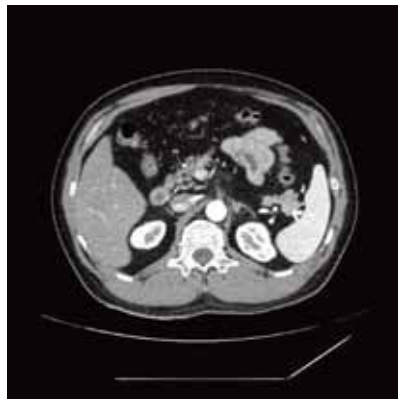


図1（腹部の輪切り画像）

「図1」の輪切り画像を薄くし、1000枚近く重ね合わせた「胸部く骨盤」を立体感の有る画像にする」と「図2」のように三次元画像になります。



図2（骨と大動脈画像）

この画像から骨を消すと「図3」の様な大動脈だけの三次元画像も可能です。



図3（胸腹部大動脈画像）

また、表現の異なる多断面画像、「図4a・b」のような画像も作成することが出来ます。

このように、新しい画像再構成（画像の作り方）以外にも、撮影時の息止めが短く、被ばく線量を少な

く出来ることにより、患者さんに負担を与えることなく検査ができるようになりました。

装置の進化・最新の技術を無駄なく生かし、患者さんに最高の診療画像が提供できるように努めて行きたいと思っています。



図4a（胸腹部の画像）



図4b（左真横からみた胸腹画像）

院内環境の整備について

事務部長 日高 武英

病院の基本方針にも「明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。」と掲げているとおり、ここ数年間、アメニティーの改善に努めてまいりました。なにぶん、築30年の建物ですから限界もあります。が、来院される患者さんや付き添いの方が快適に過ごしていただけるよう、今後も環境整備に注力してまいります。

さて今回は、近年の整備状況を紹介させていただきます。

① 院内の案内表示



検査入口の表示をアルファベツトで識別できるようにしました。

現在位置や行先表示を変更しました。

本館は緑色、新館はピンク色、別棟は紺色と、エリアごとに表示を色分けしました。



② 外来の待ち時間表示

救急患者の対応等で通常診療が遅れることがありご迷惑をおかけしております。バスの乗車時間等で待ち時間が心配な方は、最寄りのスタッフにご相談ください。



示しています。

外来の待ち時間表示を行っています。
各診療科単位で、予約時間に対する遅れの状況を表

③ 荷物運搬車を設置



外来の救急室前に荷物運搬車を置いていきます。入退院等の手荷物運搬にご利用ください。

④ 手押し車を設置



玄関に手押し車を置いていきます。腰掛としても使えます。院内の移動にお使いください。



電子カルテ稼働について

医事課長 奈須 和子

平成25年2月末（予定）に電子カルテが稼働します。電子カルテは、診療記録を紙に記入していくのではなく、パソコンへ入力し保存をしていきます。保存したデータはその後、院内の各パソコンで見ることができるようになります。紙カルテでは、過去の検査結果等を探すことに時間がかかるため、診察時間が延びることもあります。しかし、パソコンに入力したデータは、簡単に探すことができ診察待ち時間も短くなります。その上、現在の紙カルテの過去の記録は紙の変色・にじみ等により年月とともに読みにくくなってしまう



邑智病院が新しく変わります!

ます。しかし、電子カルテではパソコンに入力された文字なので、読みにくいということがなくなります。

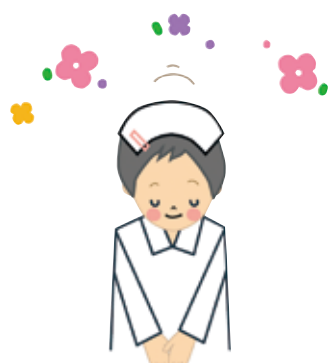


現在、島根県では医療・ITネットワークを構築し各病院・診療所間において情報を共有化することを目的に事業を開始しています。当院でも、この事業に参画予定です。例えば、県立中央病院に受診されている方については、当院でもそのカルテの情報を参照することができ、無駄な検査等を省くことができます。このように業務の効率化や患者サービス向上に大きな効果が期待されます。

稼働開始当初は受診された皆さんにご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

内視鏡室の変更について

主任 柳川 宣子



昨年4月から本館病棟に隣接する場所に内視鏡室が移転しました。以前は1階にあり狭い場所でしたが、2階の内視鏡室は室内が広く明るくなりました。検査で使用するカメラは最新のカメラが2台あり、以前に比べると性能が良くなっています。画像がきれいで胃の粘膜がよく見え、病気の早期発見には最適です。

私たち内視鏡室看護師は、内視鏡技師の資格を持っています。私たちは、検査を受けられる方の立場に立ち、安全・安心に検査が受けられるよう努めています。



内視鏡室全体



内視鏡室入口

小学生が邑智病院に見学に来ました！

町内の小学校の生徒さんたちが邑智病院へ見学に来られました。

各小学校の生徒さんたちは医療に関して日頃疑問に思っている事を進んで手を挙げて質問していました。いくつか難しい質問もあり医師や職員が戸惑う場面もありました。

また、医師の説明を熱心に聞きメモを取る生徒さんたちがたくさんおられ、これからの地域医療を担ってほしいと思います。

今から邑智病院見学に来られる小学校もあり、邑智病院職員一同楽しみにお待ちしております。



当院医師を囲んで記念撮影 高原小学校生



医療機器の説明を聞く瑞穂小学校生



藤脇副院長の話を聞く口羽小学校生



CT装置の説明を聞く日貫小学校生

たくさんの赤ちゃんが生まれました！

平成24年度11月現在でお産件数が23件になりました。

うち里帰り出産件数は13件と地元に戻ってお産をされる方が多くなってきました。当院では産婦人科の荘田医師をはじめ、助産師、小児科医、麻酔科医も常勤しているため万全な体制でお産を迎える事が出来ます。

また、お産を迎える部屋として「LDR室」という自宅にいるような雰囲気でお産が出来る部屋も完備されていますので母子共に安心してお産にのぞめる体制が整っています。



11月生まれの赤ちゃん集合写真（11月17日）

教えて Dr!! (麻酔科編)

寝たきりになるまで 「ロコモ」予防で、びんびんころり



院長 石原 晋

人間いつかは必ず死ぬわけですが、できることなら、家族に迷惑をかけず、介護のお世話にもならず、寝たきりなんかにならないで、元気に長生きをして、逝くときは、びんびんころりと逝きたいものであります。

さて、要介護や寝たきりになる主な原因は①脳卒中、②認知症、③脚腰(あしこし)の病气やけがの3項目で、それぞれが約3割を占めます。今回はこのうちの③について述べます。「脚腰の病气やけがで要介護や寝たきりになるリスクが高まった状態」を「ロコモティブ症候群(ロコモ)」といいます。ロコモを予防し、あるいは早期発見・早期対処すれば、寝たきりになる原因の3分の1は回避できる理屈です。では、ロ

コモにはどんな病气が含まれるのでしょうか。

膝の老化からくる「変形性膝関節症」、背骨の老化からくる「変形性腰椎症」、骨粗鬆症が原因の「大腿骨骨折」や「腰椎圧迫骨折」などが主なものですが、そのほか、歳とともに引きこもりがちになると、運動不足―筋力低下の悪循環(廃用症候群)から要介護になってしまいます。これらロコモに含まれる代表的な病气について簡単に解説します。



変形性膝関節症

加齢とともに関節の軟骨やクッションがすり減って、モモの骨(大腿骨)とスネの骨(脛骨)が直接こすれるようになり、骨が次第に破壊される病气です。肥満やO脚だとなりがちです。膝の痛みのため、歩くのがだんだんつらくなってきます。最終的には手術(膝関節置換術)しかありませんが、骨の破壊が

進む前なら、進行を遅らせる方法がいくつかあります。リハビリ(モモの筋トレ)、足底板(O脚を修正する履き物)、関節内ヒアルロン酸注射などが有効です。強い痛みには麻酔薬やステロイドを関節内に注射します。膝の痛みによく効く新しい飲み薬もできました。運動不足にならない、体重を減らす、杖や歩行器で膝の負担を軽くするなど大変重要です。以上のような治療や努力次第で、死ぬまで手術せずにすむかもしれません。手術以外のことは邑智病院ですべてできます。

サプリメント(コンドロイチン、ヒアルロン酸など)内服の有効性は証明されていないので、病院や医院では処方されません。

サプリメント(コンドロイチン、ヒアルロン酸など)内服の有効性は証明されていないので、病院や医院では処方されません。

変形性腰椎症

背骨、特に腰椎は加齢とともに変形してきます。変形した骨が神経を圧迫すると腰痛や尻から足にかけての痛み(坐骨神経痛)が出てきます。当院では、痛み止め、リハビリ、コルセット、神経ブロックなどの治療をします。肥満解消、適度な運動の継続も重要です。痛みが何か月も続く、脚の筋肉が痩せる、排便排尿障

害などがあればMRI検査を行って手術の必要性を判断し、適切な病院へ紹介します。



骨粗鬆症

加齢とともに骨がスカスカになって、骨折したりつづれたりしやすくなる病气です。女性患者数は男性患者数の2倍あり、70歳女性の4割が骨粗鬆症に該当します。骨粗鬆症は特に症状がないまま静かに悪化してゆきます。そしてある日突然、つまづいて転ぶなどのささいなことで大腿骨骨折や腰椎圧迫骨折をおこすのです。骨折したその日から要介護という不運な結果も少なくありません。予防や早期治療が重要です。閉経後の女性、70歳以上の男性は毎年「骨密度検査」を受けることをお勧めします。当院では、麻酔科が婦人科で受け付けています。検査結果が要注意であれば食事指導、生活指導、ビタミンD処方などをします。骨粗鬆症と診断されれば、内服薬、

注射などの外来治療を開始します。骨密度の改善が思わしくない場合や重症の場合は、患者さんに毎日自己注射をしてもらう強力な治療法もあります。これらの治療により骨折する確率が大幅に減少します。また骨がスリカスリだとそれだけで背中が痛んだり、背中が曲がったりしてきますが、このような症状も早期治療で食い止めることができます。

寝たきりにならないために

- ・膝、脚、腰の悩みは早めにご相談ください
- ・腹八分と適度な運動を心がけましょう
- ・定期的に骨密度検査を受けましょう

お知らせ

骨粗鬆症の最強治療「自己注射療法」のための学習入院をはじめました。

邑智病院では、骨粗鬆症の中でも、特に骨折リスクが高く、かつ治

療に積極的な方に対して、テリパチドという骨形成促進ホルモンを毎日自分で注射する治療法をはじめました。1年から2年間で、毎日注射することで骨折リスクが大幅に低下することが証明されている最強治療法です。原則として2泊入院していただき、その間に自己注射のやりかた、病気や薬の説明、食事や日常生活の留意点などについて学んでいただき、その後、自己注射療法の開始となります。注射のやり方は糖尿病のインスリン療法とほぼ同様です。麻酔科または婦人科外来でご相談ください。



邑智病院で土手慶五先生の循環器内科外来診療が始まります！

(広島市立安佐市民病院循環器科主任部長)

本年1月から土手先生の診療が始まります。

診察時間は毎月第3金曜日9時～11時30分です。

現在、邑智郡から安佐市民病院循環器科へ200名近くの方が通院しておられます。これまで、邑智病院へ救急搬入された重症心臓病患者の大半を安佐市民病院へお願いしてきまして、その後の経過観察のため通院されているものです。

これらの患者さんや町議会議員の方から強い要望があり、このたび当院で外来診療していただくことになったものです。

土手先生は我が国の循環器分野のトップリーダーのおひとりですが、こよなく邑智郡の風土を愛しておられ、こころよく引き受けていただきました。

名前

・土手 慶五 (どて けいご)

専門・資格

- ・日本循環器学会専門医
- ・日本内科学会認定内科指導医
- ・日本心血管インターベンション治療学会指導医・評議員
- ・日本心臓病学会特別正会員 (FJCC)
- ・広島大学臨床教授
- ・医学博士



外 来 診 療 担 当 一 覧 表

※ は派遣医師 は新規診療科目

平成25年1月1日現在

診 療 科	月	火	水	木	金	受付時間	備 考
内科1診 (初診)	三島千明	黒谷一志	塚尾仁一	保坂成俊	前本 遼	8:30～11:30	
内科2診 (再診)	保坂成俊	前本 遼	三島千明	塚尾仁一	黒谷一志		【予約制】
内科3診 (再診)	黒谷一志	—	島大医師 (糖尿病外来)	—	土手慶五 三島千明		※ 循環器外来(土手医師) 第3金曜日
検 査	塚尾仁一	三島千明	前本 遼	黒谷一志	保坂成俊	—	
外 科	合田義弘	合田義弘	合田義弘	合田義弘	合田義弘	8:30～11:30	(診療時間) 9:00～ ※ 月末の合田医師不在時は 月・火(石原) 水(荘田)
整形外科	—	—	島大医師	—	—	8:30～11:30 ただし予約のある方は 8:30～15:30	(診療時間) 9:00～16:00
小児科	AM	藤脇建久 (～15:00まで) 院外で外来診療のため	藤脇建久	藤脇建久	藤脇建久	8:30～11:30 14:00～16:30	小児科医不在時は内科医が担当 月曜日は予防接種日 火曜日は15:00～診療
	PM	藤脇建久	藤脇建久	藤脇建久 休診 郡内乳幼児検診のため	藤脇建久		
産婦人科	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	8:30～11:30	(診療時間) 9:00～12:00 婦人科検診は毎週金曜日 ※ 月・木は助産師勤務日
泌尿器科	—	—	—	島大医師	島大医師	8:30～11:30 ただし予約のある方は 8:30～14:30	
人工透析	石原 晋	保坂成俊	石原 晋	島大医師	島大医師		土曜日は島大医師が担当
麻 酔 科	—	石原 晋	—	石原 晋	—	8:30～11:30	(診療時間) 9:00～
歯 科	石岡康希	石岡康希	石岡康希	石岡康希	石岡康希	8:30～11:30 14:00～16:00	【予約制】 ※ 第1水曜日は休診
精 神 科	—	—	—	—	西川病院 医師	12:00～16:30	(診療時間) 13:00～17:00 ※ 初診の場合は他精神科からの紹介状が必要です。

随時募集中 ・ 医 師

当院勤務の医療従事者を募集しています。
お気軽にお問い合わせ下さい。



ありがとうございました。

インテリア幹様からパンジーを頂き、職員で植え替えをしました！来年の春にきれいな花を咲かせるのを楽しみにしています☆



病児保育室「コスモス」『開所中』



お子さん一人ひとりに合わせた
生活リズムで安心して静養いただけ、
早めの回復をお手伝いいたします。

●お問い合わせは地域連携室まで
☎0855-95-2165

外来休診日のお知らせ

次の日程で外来診療を休診します。
ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

○歯科 **2月6日**
3月6日



お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院総務課

TEL 0855-95-2111

FAX 0855-95-2727

〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2

ホームページアドレス 邑智病院 検索

<http://www.ohchihospital.jp/>

病院基本方針

- ① 患者さんを家族と思い、良質で親身な医療を提供します。
- ② 職員同士がお互いのやりがいと誇りを尊重しあう、暖かい職場をつくります。
- ③ 明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。
- ④ 地域に信頼されるよう、健全な経営に努めます。